

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年6月17日

2003年6月15日現在：

6月15日に終わる週も前週に引き続き平年を上回る高温の日が続き、降水は同州北部地区に多少記録されたのみであった。6月15日に終わる1週間の州平均農作業日数は6.8日であった。北部地区の最高気温は86度Fであった。

好天は春小麦の生育を早め、6月15日現在春小麦の99%の圃場で出芽（北部地区：95%）し、全州の9%の圃場で出穂した（昨年：4%、平年：14%）。

冬小麦の82%がBooted（穂孕み期）、47%が出穂した（平年：45%）。出穂状況は北部では5年平均より多少遅れているが、他地区では平年より早い進捗であった。冬・春共に小麦の作柄は昨年より良好との評価であるが、北部地区の一部にて冬小麦にStrip rust（黄さび病）が認められ、薬剤散布が実施された。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	6	33	59	2
Last week (%)	4	33	58	5

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	3	11	46	38	2

小麦作柄状況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat (%)	0	3	9	67	21
Spring Wheat (%)	0	1	15	67	17

小麦進捗状況：6月15日現在

Spring Wheat	North			S. W.			S. Cent.			State		
	6/15	A	Ave	6/15	A	Ave	6/15	A	Ave	6/15	A	Ave
Emerged (%)	95	100	98	100	100	100	100	100	100	99	100	100
Headed (%)	0	3	4	98	61	74	17	8	29	9	4	14
Winter Wheat Headed (%)	13	11	28	99	91	95	86	91	79	47	34	45

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source: Idaho Agricultural Statistics Service

6月1日付け農務省発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				May 1	June 1		
Idaho	690	710	79.0	79.0	82.0	54,510	58,220

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃 : E-mail ogawa.max@omicnet.com